



三丁目の笑顔

なん・ぽん・さん

南 本 三

南本町三丁目 景観づくりの会
2020年3月発行

● 三丁目のヒト

寒行募金 七十有余年
正輪寺住職
小林政明さん

● 三丁目のコト

昨年につき
上総高校生の協力で
景観まちづくり
NHK でも放映！

● 三丁目のレキシ

『祠』の歴史
旧中川家の祠 その弐



2020 どんど焼き



三丁目のヒト

ご近所この人、ご存じでしたか
「なるほど!?!」な人生。

臨濟宗 妙心寺派 正輪寺住職

寒行募金 七十有余年 小林 政明さん



●受け継がれた寒行

厳冬の寒の入りから節分までの夕暮れの間、街中に凜とした読経（準提観音経）の声と錫杖（しゃくじょう）のチャリンチャリンという音が響きます。

先代住職で父親の悠幸住職が昭和22年戦後の荒廃した社会を見て、「みんなで助け合いながら世の中を立て直さなければ」と思い、始められた寒行募金が今も受け継がれています。そこで、現住職の小林政明さんにお話を伺いました。

現住職は先代がお亡くなりになってから引継ぎ寒行募金も約40年になるとのことです。

正輪寺は江戸時代の松平光長公の時代に福井から移った「華蔵寺」(かそうじ)の隠居寺として今の寺所に建てられたようです。当時は南新町一帯も寺領として拝領していたようだとのことでした。

さて、話を戻します。先代が始められた頃は初め邪魔にされたり胡散臭さがられたりでなかなか相手にされなかったようで苦労されたとのこと。やがて皆に気持ちが伝わったのか、余談ではありますが当時は夜の寒行でしたので仲町界隈の酔った方たちからも沢山の浄財をいただいたらしいと先代からの思



い出話を微笑みながら話して下さいました。

今は正輪寺を中心に、南本町・本町・大町・寺町・仲町と歩いていますが、以前はもっと広範囲に寒行募金に歩かれていたようです。「私の寒行が来るのを待っていて下さる方のためにも、なるべく決まった時間に通るように心掛けて歩みを進める様にしています」とのことでした。

●時代の変化と変わらない人情

現住職も寒行の中で時の移ろいを感じると言います。一斉雪下ろしの中での寒行、街からどんどんと商店が消えていき、家の中や街行く人の数が少なくなっていく姿……

でも、最後に住職が語られた「ただ、この町はやはり人情に篤(あつ)い街だと思いますよ」の言葉にお人柄を感じずにはられません。「雪道の譲り合い」「大雪の年に私のために道の雪を割ってくれる方」「顔を見ないと心配してくださる方」「わざわざお金を渡せなかったと届けてくださる方」……苦労話などほとんど語られない住職のお話でした。

寒行で集められた浄財のほとんどが市の社会福祉に寄付されています。





協力いただいた上総高の皆さんからの活動報告。

●「写真展と光のワークショップ開催に向けて」

こんにちは！私たちは上越総合技術高等学校建築システムコース地域交流班の池亀、佐藤、寺井、中村、水島です。突然ですが、皆さんは9月29日（日）の雁木通り祭りの写真展を覚えていますか？また、竹内電気さんの2階の窓やバス停前の影絵に気づいて頂けましたか？今回のなん・ぽん・さんはその写真展に向けた私たちの活動と影絵のテーマについて紹介していきます。

写真展を開催するにあたり、私たちは町歩きや地域の方々からのお話を通して、南本町3丁目の魅力をたくさん知ることが出来ました。その魅力をたくさんの人に伝えたいと思い、写真展の企画・準備を引き受けました。

写真展のレイアウトや展示する写真選び、キャプション作りなど様々な作業に取り組みました。そしてなんと、入り口に設置されていたスロープも私たちが作成したものであります！！スロープ作りや写真展の設営をするため、私たちは夏休みの間も学校に通い作業を進めました。

そして、写真展当日には約250人もの方に見に来ていただきました。私たちが作ったスロープがベビーカーをひいた親子や高齢者の方に安心して利用している姿を見て、達成感を感じました。



●「四季と人物をテーマに！」

話は変わって光のワークショップの影絵には四季をテーマにしたもの、人物をテーマにしたものがあります。四季の方では春夏秋冬をそれぞれ窓枠毎に作製し、春は桜、夏はヤシの木、秋はイチョウ、冬は雪だるま、他にも季節を感じる内容が取り付けてあります。人物については戦時中の男女の恋心を表現しました。男女が向かい合い、戦争に向かう男性を見送る様子が描かれています。これを思いついた理由は竹内電気山の店頭で並ぶレトロな物品を見たときに1、2階で統一感を出したいとグループで考えた事がきっかけです。

影絵の作製は学校では行わない内容だったので、表現方法などに苦労しました。しかし明かりをあてたときに思い描いた形になるものもあり、成果を感じられる内容になりました。

今回の写真展や光のワークショップで南本町の活性化に微力ながらお手伝いでき、良かったです。来年も継続して交流を深めていきたいです。

以上、地域交流班からでした。

※ご存じの方も多いと思いますが、NHKニュースで照明を中心に放映されました。

『祠』の歴史 旧中川家の祠 その弐



先号で紹介させて戴いた佐藤家にある中川家ゆかりの稲荷社の祠について、当町内 新保様からお手紙を頂戴しました。是非皆様にご紹介させて戴きたいと思えます。ほんの一部修正しましたが、ほぼ原文のままです。

中川家のお嬢様の淑(しゅく)様は良家のお嬢様そのものの方で、クラスの女子では一番背が高く成績も良くて字も絵もお上手、やさしい声でクラスの誰にも穏やかに接して下さい「中ちゃん 中ちゃん」としたわれていました。

中川家は昭和 24 年城南中一年生の時、南城二丁目に引っ越されたそうです。昭和 34 年 4 月にお父様が亡くられました。淑様のご両親、お兄様、弟様も亡くなられ、今は淑様お一人様になられ長野市におられます。市内のお嬢様方は時々顔を見せて下さるとの事でした。

2 年に一度の城南中の同窓会、私が万年事務局を務めておりましたので筆まめな淑様は今でも折々きれいな字のお手紙下さったり、やさしい声でお電話下さったり嬉しい事です。



現 佐藤家
(旧 中川家)
の祠

高田市長を務められた中川家のお嬢様の淑様と私は城南中学卒業の年に同級生でした。中川家の祠を紹介されていた「なん・ぽん・さん」を町内事務所から頂いて淑様にお送りしました。とても喜んで下さってお電話下さいました。

『とっくに撤去されたものと思い込んでいたのに、祠が今でも大事に受け継がれ守られていた事に感激しました。そのまま大事に受け継いで見守ってお参りして下さいの方々感謝申し上げます機会がありましたら皆様に伝えてほしいです。』

『大きな大きなけやきの下に鳥居があって祠の前には榊の木があって、何かあるごとにお赤飯をお供えしてお参りしていた昔を懐かしく思い出しています。有難うございました。』

との事でした。

祠の現在地に南本町二丁目から移られて整骨院をされた院長先生の実のお姉様も城南中学の同級生でした。背が高く美人でスマートでおしゃれな方でした。

佐藤歯科クリニックの正孝先生には、私共家族は歯の治療でお世話になっておりますが、先生の実弟様とは私共の三女が南本町小学校の時同級生でした。中川家、佐藤家とのご縁を感じているところです。

新保様、非常に貴重な情報を戴き大変ありがとうございました。

編集後記

皆さん 12 月の「光のワークショップ」を観ていただきましたでしょうか。

上越総合技術高等学校の生徒から力添えいただき実施し、今あるものを使って新しいものを見つけ町の魅力を発信しました。

これからも皆様のご協力をいただきながら活動してまいります。
景観づくりの会会長 大塚 誠

三丁目の出来事
発信中！

スマホ・パソコンで見られますよ！

南本町 3 丁目ガイド

